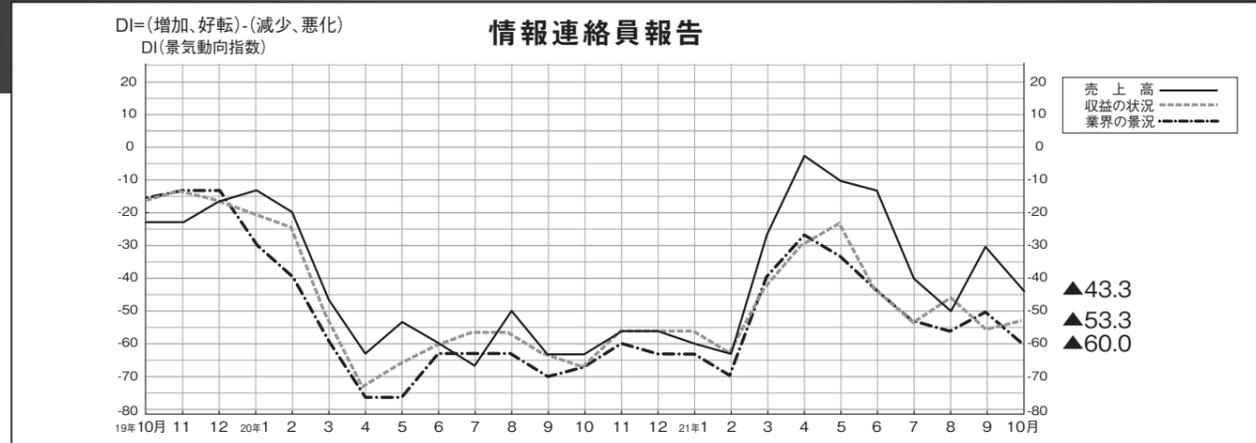


情報連絡員報告を中心とした 県内各業界の動向

2021年10月 (前年同月比)



業界の状況 | ☁️...好転 | ☁️...やや好転 | ☁️...不変 | ☁️...やや悪化 | ☁️...悪化

<p>食品団地</p> <p>10月度商況は、依然と足踏み状態が続いている。原材料の値上がりや燃料の値上がりも急ピッチであり、企業努力では対応できなく、価格転換を検討する企業が多くなっている。</p>	<p>生コンクリート製造</p> <p>材料費や軽油の高騰がみられる。前月との比較は(売上・受注)が「増加」から「不変」、(収益状況)が「増加」から「不変」、(業界景況)が「不変」から「不変」。</p>
<p>酒類製造</p> <p>外食、宴会、イベントの自粛の影響もあり、昨年より減少したが、やや回復の兆し。飲食店も徐々に賑わいを見せ始めた。最需要期11~12月の回復に期待。</p>	<p>コンクリート製品</p> <p>出荷数量は、前年同月比61%。令和元年5月分の出荷から西日本豪雨による災害復旧工事の発注により増加が続いていた。令和2年7月以降は、増減を繰り返して、令和3年10月分減少に転じた。</p>
<p>テントシート</p> <p>コロナ禍でイベント関連事業主力の事業所は、大変な状況です。感染拡大防止策でイベント関連事業の中止、延期で売上ダウンの状況がまだまだ続いている。</p>	<p>機械団地</p> <p>売上は徐々に回復しつつある。一部の事業所では、原材料の高騰による調達難に加え、電力等の燃料費高騰の影響により、収益悪化に拍車がかかっているとの声がある。</p>
<p>木製品素材生産</p> <p>スギ・ヒノキともに量は1割程度増で、価格的には横ばいの状況。いまだ外材減少の余波は続いており、先が見通せない不安状況がある。</p>	<p>刃物製造</p> <p>昨年より売上は減少した。商品の仕上がり遅く早期納品ができない。材料費の値上により価格改定の話が出始めている。その他付属品などの値上も少しずつ出始めている。コロナからは少し回復の兆しが見える。</p>
<p>製材</p> <p>原木、製品等の価格上昇傾向は継続している。前月との比較は(売上・受注)が「不変」から「不変」、(収益状況)が「不変」から「不変」、(業界景況)が「不変」から「不変」。</p>	<p>船舶製造</p> <p>受注残の消化にて、操業度は高い水準。(コロナの影響はあるが、軽微。)</p>
<p>製紙(家庭紙)</p> <p>コロナ感染拡大が落ち着きを見せ、人流が活発となり、家庭紙の需要が回復する事を期待する昨今であるが……。今度は、原油の値上がりによる資材関係の高騰に苦慮しそうな状況となっている。</p>	<p>珊瑚装飾品製造</p> <p>10月の取引額は前年同月比66%、コロナ禍前の前々年と比べると59%であり、依然回復の兆しが見えない。末端の消費者による購買力が低調。</p>
<p>印刷</p> <p>前月よりは県内需要、県外需要共回復傾向が見られる。只、前年はGoTo事業等の特需も有り前年対比は若干割れる。又原材料価格の高騰もあり、一昨年比で見ても厳しい状況が継続している。</p>	<p>卸団地</p> <p>1.コロナの影響は少なかったが、GoToがなく、出控えムードが感じられた。2.ガソリン価格の上昇も、景気停滞に大きく影響。3.景気は悪化の状態が続いている。コロナが落ち着いても回復は見込めないのでは？</p>

<p>青果卸売</p> <p>販売価格の低下又、業務系の低迷などにより10月は平均12.5%のマイナスだった。(業務関係は壊滅的である。)</p>	<p>商店街(四万十市)</p> <p>近県からの観光客が多いようだが、まだすみずみの個店に活気もどる程ではない。年末の商店街クーポン券を準備中だ。地元の人出が増えるのを期待する。</p>
<p>生鮮魚介卸売</p> <p>(「非常事態」・「特別警戒」)は解除になったが、飲食店等のお客さんの足はまだだだと思われる。結婚式などもまだまだ。今後は徐々に回復しそう。</p>	<p>旅館・ホテル</p> <p>緊急事態宣言等の規制が解除され、人の動きは出てきたが、まだ微増。宴会の問い合わせも少し入っている。新GoToキャンペーンの再開に期待したい。</p>
<p>各種小売(土佐市)</p> <p>あまり状況は変わらず、昼間は少しお客様が動き出したと思うが、夜の街はまだ閑散としている。</p>	<p>飲食店</p> <p>食糧品全体に値上がり傾向、仕入価格が上昇。緊急事態宣言・蔓延防止重点処置が全国的に解除され集客が増え売上が回復業種によりばらつきは大きい業界全体としては前年度同月(既にコロナ禍)と同程度。</p>
<p>ガソリンスタンド</p> <p>原油価格高騰が継続。主な要因は、産油国で構成する会合で原油増産が見送られた事、コロナのまん延が収まりつつあり、原油需要が増加している事があげられ増産がない中での需要増が価格上昇を招いている。</p>	<p>旅行業</p> <p>組合クーポン前年同月対比59%、全旅クーポンを加味して62%。GoToトラベル利用の再開が待たれる。高知県貸切バス補助事業の利用が多く催行されている様子も、クーポン売上の回復には直結していない。</p>
<p>電気機械器具小売</p> <p>全商品売上前年比92%ぐらい。昨年の巣ごもり需要の反動が出ている。</p>	<p>一般土木建築工事</p> <p>令和3年10月分の公共用生コン出荷量は、前月比106.3%、前年同月比118.8%。公共工事請負金額は前年同月比で83.4%。災害復旧工事、防災・減災対策工事、高速道路の延伸工事などの大型工事は継続。</p>
<p>中古自動車小売</p> <p>中四国をメインとしたオートオークションを自県で開催。業界全体の流通量が減少傾向にあるので、高年式車がけん引をし、中・低年式の良質車の相場が高い。成約、車両単価ともに前年を上回る結果となった。</p>	<p>電気工事</p> <p>組合員の施工する電力引き込み線工事量は、前年同月比83.8%となった。高知市中央地区の約20%減が影響している。半導体不足による電化製品等の入荷遅れによって、販売および工事量が低下している。</p>
<p>商店街(安芸市)</p> <p>10月30日にコミュニティ広場『満子の部屋』前にてハロウィンイベントを実施。各方面の協力でイベントを安全に盛り上げてくれた。(感染者数の減少とともに、徐々に人の流れが増えてきているように感じる。)</p>	<p>一般貨物自動車運送</p> <p>コロナ感染者が減少、荷動きも良くなると予想された矢先、原油価格高騰により軽油価格も大幅上昇。組合員企業の経営は厳しくなっている。これ以上の値上がりは経営に大きな打撃を与える恐れがある。</p>
<p>商店街(高知市)</p> <p>中央公園地下駐車場利用状況 売上:前年比149.9% 台数:110.7%。コロナの新規感染者は減少して、商店街の通行量も幾分増えたようだ。年末年始にかけて昨年のような感染拡大が起こらないことを願う。</p>	<p>タクシー</p> <p>雇用調整助成金により運転者を休ませている会社もあり、稼働している車も少ないのに収入は伸びない状況。対策規制が除かれたが、客足はイマイチで夜の街での利用者は戻らない…年末を期待したい。</p>

挑戦の数だけ、 保険がある。

To Be a Good Company

東京海上日動

